

粕壁地区公民館・粕壁南公民館

◇運営の基本方針

生涯学習の視点から、地域における学習意欲を醸成するため、各世代を対象とした学習機会の提供を行い、豊かな人間性を養い、もってより良い地域づくりを進める。

粕
壁

◇重点施策

- 1 各層、各期の学習ニーズを取り上げ、それに対応する事業を実施するとともに参加者の自主的な活動を推進する。
- 2 人々の集うスポーツ大会を実施し、地域の連帯感と親睦を深める。
- 3 幼児期において、家庭の教育力の活性化を促す事業を推進する。
- 4 青少年の健全育成のための事業を推進する。

◇重点事業

- 1 「かすかべ茶屋」
- 2 粕壁地区体育祭
- 3 粕壁地区文化祭



粕壁南公民館

粕壁地区公民館

所在地 〒344-0061 春日部市粕壁6918番地1（粕壁市民センター内）

TEL 048-752-3080 FAX 048-754-0158

E-mail chuokou@city.kasukabe.lg.jp

粕壁南公民館

所在地 〒344-0064 春日部市南一丁目12番23号

TEL 048-738-0088 FAX 048-738-0088

E-mail kasunankou@city.kasukabe.lg.jp

職員	館長（兼務）	大橋 等	主幹（兼務）	金子 忠之
	主査（兼務）	須藤 俊英	主査（兼務）	城田 徹
	主任（兼務）	桜井 厚	主任（兼務）	岩本 一
				（社会教育主事）
	主任（兼務）	大澤 恵太	主任（兼務）	高島 美香
		（社会教育主事）		（社会教育主事）
	フルタイム（兼務）	落合 珠美	フルタイム（兼務）	榊原 小太郎
	フルタイム（兼務）	大石 麻佑美	フルタイム（兼務）	原 昌美

粕壁地区 1

事業名 テーマ	教養講座「健康をかんがえる」		対 象	一般		定 員	4 0 人	
ね ら い	健康意識を高めることで、春日部市における健康寿命の延伸を図る。併せて、継続的な講座の実施により健康をきっかけにした地域リーダーの育成を図るもの。							
協力機関 及び団体	共催：第1地域包括支援センター 協力：介護保険課		特 色 位置づけ	原則毎週実施	SDGsの 目標No	4・11		
会 場	中央公民館 講堂、ギャラリー		教 材 資 料 等	教材は、講師・スタッフで準備				
実施ま での 経 過	2～3月 令和6年度開催に向けた 打合せ		P R 方法	令和5年度の参加者に直接連絡 『公民館だより』による公募				
			受付方法	年度途中に新規参加者を募集 公民館だより 8月号掲載				
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				合計	合計			
4月24日（水） ～ 3月26日（水）	10：00～11：15	準備運動 （そらまめ体操） 春日部えんJOYトレーニング	実習	60	878	938	えんJOYトレーニング サポーターのみなさん 第1地域包括支援センター職員 介護保険課職員	
32回	40時間			60	878	938		
企画運営 上の工夫	運営に際しては介護保険課が主催する所定のサポーター養成講座を修了した方に指導的な立場を担う「サポーター」として活躍いただき、主体的に取り組んでもらった。身近な地域の施設である公民館で、継続的な健康維持増進の取り組みをすることにより健康寿命の延伸を図ることが期待される。							
成 果 参加者の 声など	年間を通じ、原則、毎週水曜日に継続して事業を実施することができた。年度当初には講堂 移動観覧席の故障の状況によりやむを得ず開催を中止した日程もあるが、参加者に対し多数の活動機会を提供することができた。参加者からは「毎週、参加することで健康が保てている」「なるべく毎週開催してほしい」といった声が聞かれており、公民館を会場に当事業を開催することが意味を成している。							
課題と展望	第1地域包括支援センターと共催することで、専門的な指導・助言を仰ぎながら様々な関係団体との連携を図り、「えんJOYトレーニング」の目的でもある体力測定の実施や地域における「通いの場」としての役割を果たしている。また、継続した活動により、サポーター及び参加者による自主的な運営ができる状態となっている。このことから、令和7年度中にサークル化を図るための意識づけをし、自主運営ができるよう支援していく。							

事業名 テーマ	教養講座「かすかべカフェ」		対 象	一般		定 員	各回 15～30名	
ね ら い	毎月1回、一つのテーマをもとに気軽な雰囲気の中で、講師による講義及び参加者相互の意見交換等を通して、暮らしに役立つ知識・技術を身につける機会として実施する。令和6年度中に粕壁南公民館で開催している「コミセン茶屋」と統合し、より効率的な事業展開をしていく。							
協力機関 及び団体	協力：各講師の所属する団体		特 色 位置づけ	年間を通した事業 各種団体との連携	SDGsの 目標No	4・11		
会 場	中央公民館 2階 大会議室 ほか		教 材 資料等	教材は、講師・スタッフで準備				
実施までの 経 過	協力スタッフとともに実施内容を検討し、通常、毎月の開催時に来月開催分の申込受付を開始する		PR方法	公民館だより各号				
			受付方法	中央公民館へ直接または電話で申込み				
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 合計	女 合計	合計		
4月20日（土）	10:00～11:30	ピアノの生演奏にあわせたヨガ体験	実習		19	19	鈴木 さくら 栗岡 一矛	
5月9日（木）	13:30～15:00	ガンのリハビリテーションについて～予防から緩和ケアまで～	講義	1	8	9	春日部中央総合病院 理学療法士 橋本 隆太	
2回	3時間			1	27	28		
企画運営 上の工夫	公民館をより身近に感じてもらうためにも、比較的手軽に体験できる内容を計画していく。また、時節に合った関心の高いテーマを設定すべく、生涯学習市民推進員や関心のある市民の方に参画いただき、手づくりの事業を目指す。公民館利用団体をはじめ、地域の人材に講師を依頼し、公民館の役割である「つどう・まなぶ・むすぶ」の循環を果たしていく。							
成 果 参加者の 声など	4月及び5月のみの実施となったが、実生活に即した内容で企画をすることができた。また、令和6年6月から、粕壁南公民館事業「コミセン茶屋」と統合し「かすかべ茶屋」として事業を再編。同年度中より効果的な事業を実施するためのキックオフに至った。							
課題と展望	内容設定に際して、比較的自由度の高い事業だけに、「かすかべ茶屋」として次年度以降も地区の生涯学習市民推進員をはじめとした運営スタッフなど、様々な人材に運営に関わってもらい、運営面、内容面ともに厚みのある事業を展開していく。							

事業名 テーマ	子ども体験教室 「昆虫たちとふれあおう」		対象	小学生とその保護者		定員	24名	
ねらい	おもに小学生を対象に、伝統文化・芸術・環境・科学等の体験を通して、自ら探求し生きる力を養う。							
協力機関 及び団体	群馬県立ぐんま昆虫の森		特色 位置づけ	中央公民館「科学館 巡回展」関連事業		SDGs の目 標No	4. 11	
会場	群馬県立ぐんま昆虫の森		教材 資料等	施設パンフレット				
実施までの経過	5月 6月1日(土) 6月13日(木) 7月25日(木)	会場予約 公民館だより6月号 下見 実施 	PR方法	公民館だより「桐のまち」6月号				
			受付方法	6/11(火)～7/18(木)までに直接 または電話または直接、粕壁市 民センターへ申込み 参加費大人410円(入場時各自支 払い) こども無料				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名	
				男	女	合計	氏 名	
回数	総時間数			合計	合計	合計		
7月25日(木)	8:30～15:30	ぐんま昆虫の森見学 8:30 出発 11:10 現地到着 自由行動 13:10 現地出発 15:30 帰着	見学	10	14	24		
1回	7時間			10	14	24		
企画運営 上の工夫	中央公民館主催事業 夏休み科学展「身近な虫たち」関連事業と位置づけ、同事業期間中に実施し、相乗効果による参加者確保を図った。バス車内で職員(社会教育主事)による昆虫の生態や群馬県の風土にまつわるクイズなどを行い、参加者とのコミュニケーションを図った。また、熱中症やケガに備えて、救急用品を持参した。なお、安全面を考慮し、親子で参加する催しとした。							
成果 参加者の声など	昆虫などの生物の生態に特化して自然を体験し、環境について学ぶきっかけとなった。「虫のこんちゅうはとても楽しかったです。いっぱい虫もいてびっくりしました。いろんな虫がいっぱいいました。あと森にとかげがいっぱいいいて、池にいっぱい魚がいました。」「ちょうががたくさんいるところがあり、見たことがないちょうや見たことのあるちょうがいたので、とても思い出に残りました。」「虫がいっぱいつかまえられてうれしかったし、カブトムシがかっこよかった。」「保護者1人でこどもたちをつれてでかけるのが大変ですが、バスの送迎があり遠出できたのでありがたかったです。」「(参加者アンケート原文のまま)などの感想があった。 参加者内訳：保護者8名、中学生1名、小学生11名、幼児4名							
課題と展望	夏休みらしい体験を提供しようと、自由に昆虫などの生物と触れ合える施設を選択したが、少々遠方だったため、施設の規模に対して滞在時間が短かったとの意見が多かった。事業のねらい、安全面や費用、距離などの条件を満たす施設の選択に留意したい。こどもの健やかな成長には、多くの体験が必要であるが、環境や遊びの変化により様々な体験の機会が減少している。また、昨今では、家庭環境の違いによるこどもの体験格差も問題視されている。公民館では、地域のこどもたちになるべく多くの体験の場を提供できるように企画していきたい。							

事業名 テーマ	子ども体験教室 「雪だるま作ろう♪パン de 作ろう♪」		対 象	小学生	定員	16名
ね ら い	自らの食について考える習慣や、食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身につける。 共同作業を通じて協力しあうことの大切さを学ぶ。					
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No 4.11
会 場	中央公民館 実習室		教 材 資料等	レシピ 材料は参加費で調達（講師が用意）		
実施までの経過	8月下旬 ～9月上旬 11月28日(木)	講師折衝 地区内小学校ポスター掲示依頼	P R 方法	公民館だより 12月号掲載、地区内小学校へポスター掲示		
	11月29日(金) 12月1日(日) 12月14日(土)	講師依頼 公民館だより発行 受付開始	受付方法	12月14日（土）午前9時から、参加費（500円）を添えて中央公民館へ申し込む。		
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	
1月18日（土）	10:00～12:00	料理（パン作り） ・生地の手ごね作業 ・形成 ・読み聞かせ、交流 ・焼成 ・試食	実習	合計	合計	合計
				5	11	16
1回	2時間			10	11	16
企画運営上の工夫	手作りの良さ・楽しさを感じてもらい、身近な食材と簡単な工程でできるメニューの為、小学生でも自分で作ることができるという気づきを与える。季節に合ったメニューを作り、家庭でもすぐ実践できるよう工夫する。高学年が低学年を導くように、学年の偏りなくグループ分けをおこなう。パンが焼き上がるまでの間は、パンや調理にちなんだ絵本の読み聞かせをおこない交流を図った。 					
成果参加者の声など	参加者からは、「とてもたのしくパンきじをこねたり、いろいろなことをして、またきたいと思いました」、「分かりやすく説明してもらって、パンがうまくできました。楽しかったです」、「パンがプニプニで作るのが楽しかったです」、「自分でデコレーションできて、楽しかったです」、「かわいくできてうれしかった」、「またきかいがあって、作るのがあったらいきたいです。」などの感想が寄せられ、非常に満足度の高い講座となった。 					
課題と展望	・体験したことを家庭でも実践できる内容のものを計画していきたい。 ・料理体験は、児童に人気の事業であることから、次年度も継続していき、たくさん子どもたちに手作りの良さと楽しさを体験してもらいたい。 ・地域で活動する人材を発掘し、講師を依頼できる関係性を構築していきたい。					



事業名 テーマ	第49回 粕壁地区壮年ソフトボール大会		対 象	45歳以上		定員	なし
ね ら い	壮年の健康増進と親睦を深めることをめざす。						
協力機関 及び団体 (予定)	共催：粕壁南公民館 主管：JMソフトボールクラブ		特 色	日曜日開催 壮年（満45歳以上 男女）対象		SDGsの 目標No	4・11
会 場	大沼運動公園野球場、大沼中学校校庭（1面）		教 材 資料等	代表者会議資料、プログラム			
実施ま での 経 過	9月13日（金） 主管団体と打合せ 10月1日（火） 公民館だより10月号発行 R元・4年度参加チームに 申込案内発送		P R 方法	公民館だより10月号 前年度及び令和元年度参加チ ームあて案内			
	10月10日（木）大沼中学校へ 校庭借用の依頼 10月16日（水）申込締切 10月19日（土）事前打合せ 10月26日（土）代表者会議 会長印借用		受付方法	中央公民館で直接の申込みを受 け付ける。 代表者会議までに参加費を預か り、預り証を渡す。			
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			
回 数	総時間数			男 女	合計		
11月10日（日）	8:00～14:00 （7回70分制）	トーナメント 2会場で計6試合 上位4チームによる トーナメント 1会場で計3試合 	競技	195		195	優勝：中曽根ソフト 準優勝：春日部オールウェイズ 第3位：大池南スターズ 第3位：一の割スターズ 
11月17日（日）	8:00～14:00 （7回70分制）		競技	86		86	
予備日 11月24日（日）							
1 回	12時間			281	0	281	
企 画 運営上の 工 夫	・参加チームの募集にあたって、公民館だよりへの募集記事の掲載の他、前年度及び令和4年 度参加チームへ案内をするとともに、関係者へ開催の周知を依頼した。 ・今年度より他のチームとの混合チームも可とした。 ・試合をスムーズに進行させるため、大沼中学校校庭を借用して、合計2面で実施した。						
成 果 参加者の 声など	・試合を通じて、地区間や同世代間での親睦が深められた。 ・天候に恵まれ、2日間で全試合を終了することができた。 ・会場（グラウンド面）用具については、主管団体が所有する用具を借用できたことで、準備を 的確かつ円滑に行うことができた。						
課題と展望	・大沼中学校校庭の試合では、ホームランボールが防球ネットを超えて家屋に衝突し、家屋の 外壁の一部を破損させてしまったため、他の試合でできるグラウンドを検討する必要がある。 ・前年度12チームと比べ参加チームが10チームと、減少した。来年度は、第50回記念となるた め、歴史ある本大会を盛り上げるよう参加チームを増やしていきたい。						

事業名 テーマ	令和6年度 粕壁市民センターまつり		対象	一般	定員	なし
ねらい	中央公民館及び粕壁南公民館利用団体の学習成果発表の場を提供するとともに、地域住民及び利用団体の相互交流の機会を設け、文化意識を醸成し市民主体の公民館活動を一層推進する。					
協力機関 及び団体	春日部市民劇団 かざぐるま P A サークル プラグド		特色 位置づけ	実行委員会 形式	SDGsの 目標No	4・11
会場	春日部市中央公民館		教材 資料等	パンフレット		
実施までの経過	8月～9月 10月1日（火）	参加団体募集要項作成 公民館だより10月号 （参加団体募集記事掲載）	P R 方法	公民館だより10・12月号 パンフレット及びポスター		
	10月16日（水） 11月15日（金） 11月30日（土） 12月1日（日） 12月21日（土）	参加申込書配布開始 公開抽選実施 第1回 実行委員会 公民館だより12月号 （開催周知記事掲載） 第2回 実行委員会	受付方法	【参加団体】 参加申込受付 10月16日（水） ～11月8日（金） 【来場者】 直接来館		
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計
1月31日（金） 2月1日（土） 2月2日（日）	10:00～17:00 10:00～16:00 9:30～16:50	展示部門 1/31～2/2開催 ステージ部門 体験部門、模擬店部門 （10:00～16:00）	展示 発表 体験 模擬店	31 30 376	91 58 773	122 88 1149
実施3回（日）	20時間20分			437	922	1359
企画運営 上の工夫	令和6年4月から中央公民館に地区センター機能が付加され、粕壁市民センターが開所したことにもない、より地域に特化した実施形態を模索し、参加対象を中央公民館、粕壁南公民館利用団体とする。また、参加団体の人員からなる実行委員会を組織し、手作りの運営に努める。					
成果 参加者の声など	全2回の実行委員会では、建設的な議事のもと出演順や展示場所などを協議し、参加団体で主体的に構築する催し物であることを意識付けた。ステージ部門においては3団体より「司会係」の協力を得た。来場者アンケートでは概ね、「大変よかった」或いは「よかった」との回答が寄せられた。一方で、ステージ部門を2日間開催してほしいという意見や、演目に偏りがあるのではないかと意見もあった。					
課題と展望	これまで「16公民館合同フェスティバル」に参加していた他地区の利用団体より、「参加対象を粕壁地区内に限定せず門戸を広げてほしい、中央公民館という舞台環境の整った会場で成果発表ができることを楽しみに活動している」旨の要望があった。粕壁地区に特化する一方で、中央公民館という施設の特徴を生かせるよう実施形態を見直しながら、引き続き公民館利用団体の活動成果発表の機会を提供していく。併せて、地区内の小・中学校の児童生徒の出演、出展等呼びかけるなどし、学校等との連携を図り地域に根ざした催し物となるよう工夫していく必要がある。なお、ステージ部門の運営においては、参加団体（実行委員）による当番制での役割分担を図ったところ、協力的に持ち場で業務に従事いただくことができた。一方で音響係、舞台係などは複雑な業務ゆえに、協力団体のみで対応した方が円滑なのではないかという意見が協力団体から多数寄せられた。日頃の公民館活動の成果発表の機会として、公民館と参加団体が主体となり、協力団体の力添えを得て協働で作り上げるべき催し物であるだけに、適切な役割への配置について検討を重ねていきたい。					

事業名 テーマ	自然観察会		対象	一般		定員	30名	
ねらい	地域の自然環境について理解を深め、地域資源の再発見のきっかけにするとともに、環境問題への意識向上を図る。併せて、自然観察をしながら多世代間での交流の機会とする。							
協力機関 及び団体	埼玉県生態系保護協会春日部支部		特色 位置づけ	地区内での自然観察		SDGs の目標No	4・11	
会場	古利根川（古利根公園橋周辺）		教材 資料等	図鑑形式の資料				
実施までの経過	12月～ 講師打ち合わせ 1月～ 少リーダーに参加呼びかけ 2月1日 公民館だより発行		P R 方法	公民館だより2月号 生態系保護協会による周知				
			受付方法	電話または直接申込み				
月日（曜）	時 間		方法	参加者			講師・助言者の職名	
回 数	総時間数			男	女	合計	氏 名	
				合計	合計			
2月15日（土）	9：30～11：30	古利根公園橋を起点に、右岸、左岸沿いを散策しながら、野鳥や野草など、春日部の冬の自然を観察 年少リーダー研修会の児童による感想発表など、参加者間での交流	講義 散策	13	12	25	埼玉県生態系保護協会 春日部支部 三好 あき子 	
1 回	2 時間			13	12	25		
企画運営 上の工夫	子どもから成人一般まで、より多くの人に参加してもらうため、土曜日の開催とした。また、一般公募のほか、市内の児童生徒を対象としている公民館事業「年少リーダー研修会」の参加者にも参加を呼びかけた。粕壁地区内での観光資源でもある古利根公園橋を起点に、約2時間かけて古利根川沿いを散策し、地域への愛着を深め、魅力を再発見することも期待される。							
成果 参加者の声など	毎年、埼玉県生態系保護協会春日部支部の皆さんに指導を依頼し、献身的な対応をいただいている。成人一般のほか、公民館事業に継続的に参加している児童とその保護者も多数参加した。また、大学生のボランティアスタッフの参加もあり、世代間交流が生まれた。参加者からは、「身近なところにこんな魅力があることがわかった」、「一瞬ではあったがカワセミが見られて良かった」、「親子で楽しく参加できた」といった声があった。							
課題と展望	春日部の自然環境を理解することは、地域に住まう市民にとって有意義なことであるため、今後も手法やフィールドを変えつつ継続していくべきものといえる。また、成人一般に限らず、様々な年齢層の参加者を得られるよう工夫していく必要がある。							



事業名 テーマ	ジュニア囲碁スクール	対象	小学生	定員	15名		
ねらい	囲碁を通じ子どもの人格形成、年代を超えたコミュニケーションを目的とする。						
協力機関 及び団体	春日部ジュニア囲碁普及会	特色 位置づけ	下記、企画運営 上の工夫 参照	SDGs の目 標No	4.11		
会場	粕壁南公民館会議室	教材 資料等	ジュニア囲碁スクールテキスト				
実施までの経過	12月中旬 講師打診、開場確保 1月中旬 講師依頼 2月 1日(木)公民館だより2月号発行 2月16日(金)子育て情報メール配信 2月17日(土)参加申込み受付開始 4月20日(土)第1回実施	PR方法	公民館だより2月掲載 子育て情報メール配信				
		受付方法	直接サークル活動の会場へ				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月20日(土)	10:30~12:00	開講式 囲碁の基礎	実技 講義	5	1	6	春日部ジュニア囲碁普及会 3名
5月18日(土)	10:30~12:00			2	2	4	春日部ジュニア囲碁普及会 3名
6月15日(土)	10:30~12:00			5	1	6	春日部ジュニア囲碁普及会 3名
7月20日(土)	10:30~12:00			4	2	6	春日部ジュニア囲碁普及会 4名
8月17日(土)	10:30~12:00			2	2	4	春日部ジュニア囲碁普及会 4名
9月21日(土)	10:30~12:00			3	2	5	春日部ジュニア囲碁普及会 4名
10月19日(土)	10:30~12:00			1	0	1	春日部ジュニア囲碁普及会 4名
11月16日(土)	10:30~12:00			1	2	3	春日部ジュニア囲碁普及会 4名
12月21日(土)	10:30~12:00			3	2	5	春日部ジュニア囲碁普及会 4名
1月18日(土)	10:30~12:00			3	1	4	春日部ジュニア囲碁普及会 4名
2月15日(土)	10:30~12:00			4	1	5	春日部ジュニア囲碁普及会 4名
3月15日(土)	10:30~12:00			1	1	2	春日部ジュニア囲碁普及会 3名
12回	18時間					34	17
企画運営上の工夫	囲碁を通じて子どもの人格形成と年代を超えたコミュニケーションをより深める。市内でジュニア囲碁教室を開催している春日部ジュニア囲碁普及会へ協力依頼し、事業内容の充実に努める。公民館だより、SNSなどで市民に周知し参加者を募る。						
成果参加者の声など	参加児童も熱心に受講していた。ほぼ講師の方とマンツーマンで受講できる回が多く、細かな指導を受けられていた。また途中の回で行った参加者アンケートでも、「月2回にしてください」、「分かりやすい指導をありがとうございます」など、継続希望の意見ばかりであった。						
課題と展望	昨年度に比べ今年度は参加者が減少しており、中途参加も少なかった。公民館だよりだけでなく、メール配信も行っているが反応は少ない。講師の人数が少ないため定員も少なくならざるを得ないが、効果的な広報のやり方が必要となる。						

事業名 テーマ	サークル体験月間		対 象	一般	定員	それぞれの サークルによる						
ね ら い	粕壁南公民館のサークル活動の促進と利用の活性化を目指す											
協力機関 及び団体	事業に参加希望のサークル		特 色 位置づけ	サークルとの連携	SDGsの 目標No.	4.11						
会 場	粕壁南公民館		教 材 資 料 等	教材はサークルで準備								
実施まで の 経 過	4月 1日(月)公民館だより4月号で告知 周知・サークル申込み開始 5月16日(木)サークル申込み終了 6月 1日(土)公民館だより6月号に 参加サークル一覧を掲載		PR方法	公民館だより6月号								
			受付方法	直接サークル活動の会場へ								
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名						
回 数	総時間数			男	女							
				計	計							
サークル体験報告書(7/2～8/4 粕壁南公分)												
サークル名		活動内容	活動公開日	参加人数	活動公開日	参加人数	活動公開日	参加人数	活動公開日	参加人数	のべ体 験者数	申し込み 予定人数
カブアウクレレ		ウクレレ	7/12	0	7/26						0	0
ブルメリア		ウクレレ	7/13	2	7/27	0					2	0
内谷歌声クラブひまわり		合唱・コーラス	7/3	0	7/31	0					0	0
みどりの会		合唱・コーラス	7/5	0	7/12	0					0	0
ふじコーラス		合唱・コーラス	7/5	0	7/12	0	7/19	0			0	0
くりの実コーラス		合唱・コーラス	7/2	0	7/9	0	7/23	1	7/30	1	2	1
コーロ・イリス		合唱・コーラス	7/18	0	8/1	0					0	0
カントリーダンスザ・スプリングCDT		カントリーダンス	7/24	0							0	0
内谷いきいきクラブ		健康づくり体操	7/4	1	7/11	0	7/18	0	7/25	0	1	1
春日部邦楽同好会		箏・三絃・上方唄	7/10	0	7/24	0					0	0
自強術たんぽぽ		自強術	7/5	0	7/12	0	7/19	0			0	0
自強術コスモス		自強術	7/2	1	7/9		7/23		7/30		1	1
青空ダンスクラブ		社交ダンス	7/2	1	7/9	0	7/23	0	7/30	0	1	0
ふれあい大学校友会社交ダンスクラブ		社交ダンス	7/6	0	7/20	0					0	0
気功太極金曜クラブ		気功・太極拳	7/5	2	7/12	0	7/19	0			2	0
太極拳教室 柳拳会		太極拳	7/5	1	7/12	0	7/19	0	7/26	0	1	1
太極拳かすかべ		太極拳	7/18	0							0	0
粕壁太極拳の会		太極拳	7/19	3	7/26	1	8/2	0			4	3
ビュアキッズ		キッズダンス	7/11	0	7/18	4	7/25	0			4	0
春日部チアダンス		チアダンス	7/2	0	7/9	0	7/23	0			0	0
俳句教室		俳句	7/25	2							2	2
粕南PCクラブ		パソコン	7/20	1	7/27	0					1	1
フルートアンサンブル ラ・フェニーチェ		フルートアンサンブル	7/13	1	7/27	1					2	1
筆ペン喜楽会		ペン習字	7/3	0	7/17	3					3	3
歩		ペン習字	7/9	0							0	0
藤華		ペン習字	7/5	2							2	0
ふれあい大学校友会民謡クラブ		民謡	7/10	1							1	1
ヨガサークル		ヨガ	7/10	2	7/24	0					2	0
そらヨガ		ヨガ	7/4	6	7/25	4					10	2
企画運営上 の 工 夫	・窓口付近に設置した看板にサークル体験参加団体名と実施の日時と場所を表示した「本日のサークル体験」の案内を掲示し参加者には案内として、利用者には事業のPRとした。 ・当日の部屋の使用状況が表示されているボードの一覧表にあるサークル体験参加団体名の時間帯に「サークル体験実施中」と目立つよう明記した。 ・会場付近にも「サークル体験実施中」の看板を設置し会場の案内とした。											
成 果 参 加 者 の 声 な ど	・開催が夏場の暑い時期だったためサークル体験の参加希望者が少なかったこともあり時期をずらし春先や、秋ごろに開催希望が多数。 ・サークル加入希望者もいたことから一定の成果はあり、参加したサークル団体は29団体で体験参加者数は合計41人だったが、周知方法の再検討要望もあった。 ・サークルからは「気軽に体験できると思うし、楽しかった」などの声があった。 ・参加人数により部屋の選定に困難。											
課題と展望	・開催時期の検討 ・サークルや部屋の定員も考慮し、予約制にするなどの工夫が必要である ・各種団体の活動を活性化するための支援として、今後も続けるべきと考える											

事業名 テーマ	幼児家庭教育学級		対象	未就学児とその保護者		定員	5～20組	
ねらい	人間形成において重要な幼児期の発育について、保護者が正しく理解し適切な育児を行っていくための学習機会及び保護者同士の交流の場とする。もって幼児期における家庭教育の充実を図る。							
協力機関 及び団体	協力 各講師の所属する団体		特色 位置づけ	年間を通した事業	SDGs の目標No.	4.11		
会場	粕壁南公民館 コミュニティホール、調理室、和室		教材 資料等	教材は、講師・スタッフが準備				
実施までの経過	4ヶ月前 事業内容決定、講師選定、承諾、会場確保 3ヶ月前 講師依頼文発送 月初め 公民館だより発行、子育て情報メール等配信 1ヶ月前 参加申込み受付開始		PR方法	公民館だより4、10、2月号掲載 子育て情報メール配信 公民館にポスター掲示 公民館の利用時に声かけ				
			受付方法	直接サークル活動の会場へ				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
5月11日(土)	10:30～11:30	①親子でリトミック&コンサート	実技	8	17	8	早乙女 弘枝 ほか4名	
6月1日(土)	10:30～12:00	②あそび畑		4	9	13	春日部おやこ劇場 3名	
10月31日(木)	10:00～11:00	③みんなで遊ぼう！親子ビクス		6	18	24	日本こどもフィットネス協会 加藤 啓子	
11月9日(土)	10:30～12:00	④親子クッキング		5	9	14	食改粕壁地区 5名	
3月8日(土)	10:30～11:30	⑤ベビーマッサージ& 癒しのコンサート		4	3	7	早乙女 弘枝 ほか4名	
								
								
5回	6時間			27	56	66		
企画運営上の工夫	・家族みんなで参加できるように土曜日の開催を多く設定した ・事業の内容は、親子で触れ合えるように一緒に遊んだり作ったりできるものとした ・安心・安全情報メールを活用し多くの参加者を募った ・広い会場を活かした事業内容にした							
成果 参加者の声など	参加者からは「子供が自由に動いてまわりを気にせず良かった」「子どもも大人も癒される歌で楽しく過ごせた」「家では出来ない遊びを体験できてとても楽しそうだった」「パラバルーンはみんなでやらないとできないので一緒にできて子どもたちも楽しそうだった」「自宅ではじっくりお料理させてあげられないので今日は安心して見守れてよかった」などの声をいただき大変好評であった。満開の笑顔と楽しそうな元気いっばいの声が絶えない明るい雰囲気の中、親子での触れ合いや子ども同士が楽しく遊んでいた光景が多く見られた。							
課題と展望	親子のふれあいあいの場を提供するのはもちろんだが、事業の参加をきっかけに同じ年代の子をもつ親同士の交流の場にするための工夫をすることが重要な課題になる。また「親子で一緒に楽しめるもの」と「幼児家庭教育に必要な要素」を取り入れてた企画を行っていく。							

事業名 テーマ	利用団体代表者会議		対 象	各団体の代表者		定員	なし	
ね ら い	公民館利用団体及び今後利用を予定している団体を対象に施設の利用方法についての説明を行う。また部屋の利用方法について、利用者の意見を聴取する。併せて、人権DVDを視聴し、人権への意識を深める。							
協力機関 及び団体	公民館利用団体		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11	
会 場	粕壁南公民館 1階 コミュニティホール		教 材 資 料 等	公民館利用のてびき ご意見・ご要望のまとめ				
実施までの経過	11月下旬 利用団体通知準備 12月1日 公民館だよりで告知 12月中旬～1月下旬 会議開催通知配布 2月8日 事業実施		PR方法	・公民館だより12月号へ掲載 ・各団体代表者あてに会議開催通知を直接配布				
			受付方法	直接サークル活動の会場へ				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
2月8日(土)	10:00～10:55	代表者会議 公民館の利用方法について協議 11:00～11:30(人権DVD視聴)	協議	12	24	36	職員の説明による	
								
1回	1時間30分			12	24	36		
企画運営上の工夫	(1)利用にあたっての当館固有の注意点等を説明し、適切な利用を促す資料を作成する。 (2)音楽室について、より多くの方に利用してもらうため時間制限を設けることについて、利用者の意見を聴取する機会として活用した。 (3)利用者が集まる機会を活用し、人権について学習を行った。 (4)意見を言いやすい雰囲気づくりに努めた。							
成果 参加者の声など	施設の使用方法について、周知をすることができた。音楽室の利用方法について、利用者の意見を聴取し、申請方法を変更することに了解をいただいた。 意見として、図書の利用が少ないのであれば、本棚を撤去して、団体で利用できるロッカーの設置を求める声があったが、検討事項とさせていただいた。							
課題と展望	公民館の利用については、窓口での会話を通じて、常日頃から利用者との意見交換ができるような関係・環境づくりをすることが望ましい。 この会議は利用者同士の交流を深める場として充実させたい。							



粕壁地区 15

事業名 テーマ	「かすかべ茶屋」		対 象	一般		定員	20名～30名
ね ら い	毎回1つのテーマを決め、気軽な雰囲気の中で、講師による講義及び参加者相互の意見交換等を通して、暮らしに役立つ知識・技術を身につける機会として実施する。また、中高年者の居場所づくり事業としても位置付け、楽しく、活気ある内容を目指す。粕壁地区公民館と合同で実施。						
協力機関 及び団体	粕壁地区生涯学習市民推進委員 かすかべ茶屋企画運営委員		特 色 位置づけ	各種団体との連 携		SDGs の目標 No.	4.11
会 場	粕壁市民センター(中央公民館) 粕壁南公民館		教 材 資料等	教材は、講師・スタッフで準備			
実施ま での経 過	6/27(木) 第1回スタッフ会議 8/29(木) 第2回スタッフ会議 9/26(木) 第3回スタッフ会議 10/31(木) 第4回スタッフ会議 11/28(木) 第5回スタッフ会議 12/26(木) 第6回スタッフ会議 1/23(木) 第7回スタッフ会議 2/27(木) 第8回スタッフ会議 3/27(木) 第9回スタッフ会議		PR方法	公民館だよりに掲載 ポスター掲示及びチラシ配布			
			受付方法	直接サークル活動の会場へ			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
7月4日(木)	14:00～ 16:00	「介護保険制度を 知ろう」	講義	4	16	20	第1・第5地域 包括支援センター 市行政デジタル改革課・ くらしの安全課職員
9月5日(木)	14:00～ 15:30	シニア向けスマートフォン 教室、特殊詐欺防犯教室	講義	4	6	10	
10月24日(木)	14:00～ 16:00	知っておきたい自宅の 防犯対策&快適生活	講義	10	1	11	岡田 真人
11月7日(木)	14:00～ 15:30	生き生きレクリエーション 体操脳活わらべうた	実習	1	14	15	田中 佳代子
12月26日(木)	14:00～ 16:00	公民館で学ぶ！しめ縄 づくり体験	実習	3	6	9	市郷土資料館職員
1月16日(木)	14:00～ 15:30	シニア向けスマートフォン 教室、特殊詐欺防犯教室	講義	5	8	13	市行政デジタル改革課・ くらしの安全課職員
2月6日(木)	14:00～ 15:30	昔の遊びを楽しみましょう！	実習	0	12	12	春日部市レクリ エーション研究会
3月1日(土)	13:30～ 15:30	ほんやく・おんがく5	鑑賞	83	236	319	早乙女 弘枝、品川 尚子 萩原 幸子、宮澤 智子 福原 慎吾
8回	14時間			110	299	409	
企画運営 上の工夫	・昨年度までの参加者からの要望及びスタッフからの提案のあったテーマを主に実施し、その他時事問題について関心がありそうなテーマを探し実施する。 ・粕壁地区公民館(中央公民館)及び粕壁南公民館を会場とすることで、館の特徴を生かした内容の実施を目指す。						
成 果 参加者の 声など	・開催会場を2館に分けたことで、それぞれの館の室場に合った講座を実施できた。 参加者からは個々の講座内容について「勉強になった」「もう一度開催してほしい」などの声が聞かれ、概ね好評であった。特に粕南開催の「スマホ講座」及び、粕壁地区開催の「ほんやく・おんがく」は非常に好評の企画であった。						
課題と展望	粕壁地区の「かすかべカフェ」、粕壁南の「コミセン茶屋」を統合した事業であり、多様な室場を使用した事業内容にしたかったが、統合に時間がかかり、事業回数が少なくなってしまった。次年度は早くから企画を固め、多様な講座を実施したい。						

事業名 テーマ	人権教育研修会		対象	公民館利用者		定員	なし	
ねらい	人権問題について学習し、正しい理解と認識を深めることをねらいとする。							
協力機関 及び団体	公民館利用団体 社会教育課		特色 位置づけ	人権教育		SDGs の目 標No	4・10・11	
会場	粕壁南公民館 1階 コミュニティホール		教材 資料等	人権啓発DVD「障害者は困っています！～合理的配慮のポイント～」				
実施までの経過	※利用団体代表者会議を活用する。 12月中旬～1月上旬 会議開催通知配布 2月7日 視聴覚センターへDVDを 中央公民館より映写機材を借用 2月8日 事業実施		PR方法	・各団体代表者あてに会議開催通知を直接配布				
			受付方法	直接サークル活動の会場へ				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
2月8日(土)	11:00～11:30	利用団体代表者会議に出席した方を対象に人権啓発DVDを視聴してもらった	会議	12	24	36		
1回	30分			12	24	36		
企画運営上の工夫	(1)利用団体が一堂に会する機会を利用して、人権教育研修会を開催した (2)分かりやすい人権啓発DVDを上映し、一人でも多くの人に人権への意識を高める機会となるようにする (3)参加者へ人権啓発品を配布する。(社会教育課から)							
成果 参加者の声など	「障がい者の関わり方について具体的に知ることができてよかった」、「聴覚障害者の方を見分けるのは難しい。社会の人はもっと関心を持つ必要があるのではないか」などの感想があり、人権を考える良い機会にすることができた。							
課題と展望	「団体代表者会議」の中でなぜこのビデオを見る必要があるのか、上映前に少し説明をした。唐突な印象を持たれないよう、公民館の利用と、人権問題は密接にかかわっているのだということに意識が行くようになってほしい。次年度においても、代表者会議に限らず、日常的に人権を考える機会を提供したい。							



粕壁地区 17

事業名 テーマ	粕南ギャラリー		対 象	定めず	定 員	定めず	
ね ら い	公民館利用団体以外の団体や個人に対し、芸術活動を支援するため、展示スペースを作品展示ギャラリーとして貸し出す。						
協力機関 及び団体	特になし		特 色 位置づけ	重点事業	SDG s の目 標No	4. 11	
会 場	粕壁南公民館 1階展示ロビー		教 材 資料等	特になし			
実施まで の 経 過	・6年4月 事業計画策定 ・6月1日(土) 公民館だより6月号発行		P R 方法	公民館だより6月号で事業告知			
			受付方法	直接サークル活動の会場へ			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
7月9日(火)～ 7月14日(日)	9:00～ 16:00	山本章夫 蓮の花 写真展	展示	60	240	300	申込み団体及び 個人 
8月1日(木)～ 8月7日(水)	10:00～ 16:00	日記のようなタペス トリー展		49	192	241	
10月3日(木)～ 10月6日(日)	9:00～ 16:00	グループ・クロー バー展		41	161	202	
10月16日(水)～ 10月22日(火)	10:00～ 17:00	春日部デッサン会展		77	182	259	
10月24日(木)～ 10月30日(水)	9:00～ 16:00	東鳳会俳句展		24	96	120	
2月25日(火)～ 3月4日(火)	11:00～ 17:00	A・Yさんの絵画展		77	308	385	
6回	258時間			328	1179	1507	
企画運営 上の工夫	・公民館利用団体以外で市内で活動する団体や個人にも会場を提供する。 ・中央公民館ギャラリーの縮小版という位置づけで運営し、合同展示会も促す。 ・使用料は無料ということをPRし、積極的に利用してもらうよう広報する。						
成 果 参加者 の声など	今年度で2回目の実施であるが、今年度は団体・個人合わせて6回開催が出来、昨年度に参加した団体が今年度も再参加するなど、認知度は上がってきている。来館者からも好評であった。						
課題と展望	対象が「市内在住・在勤・在学及び市内で活動するサークル」となっているため、当館利用サークルの皆様のみならず特に粕壁地区で創作活動をされている個人や団体に参加してもらえるよう周知をしたい。						

事業名 テーマ	粕南すくすくひろば ①初めての茶道 ②パパママヨガ		対象	未就学児とその保護者		定員	①5組 ②10組	
ねらい	就学前の子どもを持つ保護者に交流の場を提供する。ボランティアに託児を依頼することで保護者間の仲間づくりを支援し、季節行事を企画することで、より子育てしやすい環境の醸成をねらう。							
協力機関 及び団体	粕壁西地区民生委員児童委員協議会		特色 位置づけ	下記、企画運営上の工夫 参照		SDGs の目標No	4.11	
会場	粕壁南公民館 コミュニティホール・和室		教材 資料等	講師・スタッフが準備				
実施までの経過	①6年2～3月 民生児童委員協議会へ託児相談、こども相談課へ記事相談 4月1日(月) 公民館だより4月号発行 4月10日(水) 春日部市民生委員・児童委員協議会粕壁西地区会長へ託児依頼送付 6月5日(水) 託児協力者と打合せ ②12月1日(日) 広報かすかべ2月号発行 12月4日(水) 託児協力者と打合せ		PR方法	公民館だより4月号、12月号 子育てメール				
			受付方法	直接サークル活動の会場へ				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
6月14日(金)	10:00～11:00	母親を対象とし 茶道の作法や所作を学び 実際に お茶をたてる	実技	1	1	2	すずらんサークル坂巻とし子	
1月24日(金)	10:00～11:00	保護者向けにヨガを通して自分の時間を過ごしてもらおう	実技	5	11	16	ヨガインストラクター 山本 由紀	
2回	2時間			6	12	18		
企画運営上の工夫	・幼児同伴のため、託児協力により平日の午前中での開催とした ・民生委員・児童委員に託児協力を依頼して、保護者には講座に集中したり保護者同士が交流できる場を提供した ・参加者の希望次第で講座を企画することも予定する							
成果 参加者の声など	参加者からは①「抹茶をたてる機会がないので貴重な時間となった。」 ②「自分の時間ができたことに感謝。」「子どもを預かっていただいて、自分のことが出来たのでとても気分転換になった。」「身体のふしぶしが痛いと感じていたの、伸ばせられてリラックスできてとても気持ちよかった。リフレッシュできた。また子どもをみてもらえて安心できた。」「自分の内側に目を向ける時間の大切さを感じながら、ヨガに集中することができた。とても心地良い時間になった。」などの声があり非常に好評であった。また、地域の方々(粕壁西地区民生委員・児童委員)に託児の協力を依頼したことで、地域との関りも深まった。							
課題と展望	参加者はみな講座に満足していたがより満足度を上げ就学前の子どもを持つ保護者同士が仲間づくりや交流がもてるような工夫が必要。そのためには託児を別室で行うことも要検討。来年度も継続の予定で就学前の子どもを持つ保護者が、自分の時間を有意義に過ごせるような講座を企画し実施したい。							

